

共同獣医学課程 実務経験のある教員等一覧表（五十音順）

No	実務経験のある担当教員等			職務経歴			科目コード	実務経験関連 授業科目	関連する授業内容
	所属	職名	氏名	時期（期間）	職種	職務内容			
1	獣医学研究部門	教授	石川 透	平成4年7月～平成7年6月	岡崎国立共同研究機構 生理学研究所	助手：唾液腺腺房細胞に存在するイオンチャンネルに関する細胞生理学的研究	511110	細胞生理学・腎臓生理学	生理学研究所およびトロント小児病院研究所におけるイオンチャンネルに関する細胞生理学的および分子生理学的研究経験が、細胞生理学・腎臓生理学ならびに循環生理学・呼吸生理学・消化生理学・内分泌生理学での講義内容、特に、様々な臓器、組織、細胞の正常機能におけるイオンチャンネル蛋白およびその機能の重要性に関する講義内容に活かされている。
				平成7年7月～平成9年6月 および平成9年7月～平成10年3月	カナダトロント小児病院研究所 文部省在外研究員（平成7年7月～平成9年6月）および客員研究員（平成9年7月～平成10年3月）	上皮性ナトリウムチャンネルの分子生理学的研究	511120		
2	獣医学研究部門	助教	伊藤 めぐみ	平成9年4月～平成26年3月	北海道立総合研究機構 畜産試験場	研究職員：乳牛の周産期疾病および感染症の予防に関わる研究	511900	産業動物獣医療実習	産業動物の診療業務を行ってきた経験を活かし、疾病家畜の診断法、治療法、予防法に関する実習を行っている。
3	獣医学研究部門	教授	小川 晴子	昭和59年4月～平成4年9月	マルコ製薬株式会社	研究員：新薬の研究開発	512170	課題研究	企業での新薬開発における薬理学実験、動物実験、毒性試験の経験を生かし、課題研究の指導を行なっている。
4	獣医学研究部門	教授	川本 恵子	平成3年4月～平成5年9月	杉谷乗馬クラブ動物診療所	感染症の検査・診断業務 診療業務	511390	伝染病学総論	家畜の診療、感染症の検査・診断 魚病、エキゾチックの診療、検査、診断
							511420	伝染病学実習	
							511470	魚病学	
							511980	コミュニケーション論演習	
5	畜産フィールド科学センター	教授	木田 克弥	昭和62年1月～平成16年12月	北海道農業共済組合連合会研修所	技術主幹など： 獣医師の卒後教育、獣医新技術の研究開発と現場への普及 (特に、乳牛の代謝プロファイルテスト技術の開発と普及)	511830	生産獣医療学実習	酪農場における乳牛の生産獣医療の技術開発と普及の経験を活かし、獣医学課程の学生に対して、パラメディカル技術としての生産獣医療学について、実習を行っている。
6	生命・食料科学研究部門	教授	木下 幹朗	平成7年9月～平成10年8月	科学技術振興機構	科学技術特別研究員（厚生労働省国立循環器病センター派遣）：循環器病疾患の発症メカニズムについて、おもに生化学・細胞生物学の手法を用いて解析した。	421180	生物化学	代謝系に関する講義について、上記の時に得られた知見手法を交えて講義をしている。
7	生命・食料科学研究部門	准教授	草場 信之	平成9年4月～平成31年3月	乳房炎における各種検査、獣医師及び酪農家への乳房炎防除対策の助言	乳房炎における各種検査、獣医師及び酪農家への乳房炎防除対策の助言	511830	生産獣医療学実習	乳検情報の解析について、現場で経験した臨床例を材料に、より具体的に実践的な演習を行っている。
							601810	農畜産演習	
8	環境農学研究部門	准教授	熊野 了州	平成17年4月～平成19年3月	沖縄県植物防疫協会	研究員、サツマイモ害虫に関する生態学的研究及び防除技術開発	421160	生態学	昆虫の生態学的研究の知見を活かし、生態学における動物の個体群管理に関する講義を展開している。
				平成19年4月～平成27年3月	琉球産経株式会社				
9	環境農学研究部門	教授	小池 正徳	昭和61年4月～昭和63年3月	(株)サカタのタネ 津湾育種場 研究員	アブラナ科作物（キャベツ、コカブ、菜っ葉類）の育種学・栽培学・病理学的研究および農家への栽培指導	421130	土壌栽培学基礎	土壌栽培学基礎における作物保護学分野（植物病理学・応用昆虫学）の教育に関しては、サカタのタネ研究員時代の経験に基づいた知識を講義の参考にしている。

10	環境農学研究部門	助教	小山 耕平	平成11年4月～平成11年12月	農業研修生（大学を1年間休学）	農業研修生として、住み込みで、三重県および熊本県の有機農業を行う農場で働く。 （三重県いわん農場、熊本県坂本農場）	421160	生態学	環境に配慮した農畜産業の保全への応用の観点から、動物と環境との関わりについて講述する。
11	人間科学研究部門	講師	斉藤 準	平成 21年 10月～平成 24年 9月	北海道大学 高等教育推進機構	特定専門職員：学生への正課外学修支援および教員への教育支援	351130	物理学概論	授業外学習の教材開発や学生サポート、授業内学習のアクティブラーニング化などに実務経験を活用している。
							352040	物理学実験	
							421220	基礎物理学	
12	原虫病研究センター	教授	鈴木 宏志	1985年4月～2001年3月	中外製薬株式会社	主席研究員：発生工学の応用による遺伝子の機能解析	511230	実験動物繁殖学	発生工学は、実験動物学の中核をなす領域である。実験動物学の中で発生・生殖工学の真髄を紹介・指導している。
							511250	実験動物学実習	
13	獣医学研究部門	教授	高橋 英二	昭和61年4月～平成30年4月	十勝農業共済組合 獣医師	産業動物の診療業務と衛生管理指導業務	511900	産業動物獣医療実習	産業動物の診療業務を行ってきた経験を活かし、疾病家畜の診断法、治療法、予防法に関する実習を行っている。
14	動物医療センター	助教	田川 道人	平成21年 4月～平成23年 3月	狩野動物病院	獣医師：動物診療	511640	臨床診断学	動物病院での検査、診断経験を活かし臨床診断学で獣医療における様々な検査の意味と解釈について講義を行っている。
							511890	伴侶動物獣医療実習	動物病院での診療経験を活かし、伴侶動物獣医療実習において実際の臨床現場に即した診断と治療について学生実習に展開している。
15	獣医学研究部門	准教授	都築 直	平成20年4月～平成22年3月	北海道農業共済組合連合会	診療業務（牛）、家畜共済制度の運用	511700	放射線獣医療・画像診断学	いずれも臨床の科目であり、臨床経験を有するため、実症例を提示して教育ができています。 また、幅広い動物種の臨床経験があるので、様々な観点から教育をすることができています。
							511710	放射線獣医療・画像診断学実習	
							511770	外科学総論	
							511780	軟部組織外科学	
							511790	整形外科科学	
511800	応用外科学								
16	グローバルアグロメディシン研究センター	教授	南保 泰雄	平成 5年 4月～平成 26年 2月	日本中央競馬会	臨床業務	511830	生産獣医療学実習	生産獣医療、繁殖生理学、産業動物獣医療実習、馬臨床学（アナウンス）
							511850	繁殖生理学各論	
							511900	産業動物獣医療実習	
							601680	馬臨床学	
17	生命・食料科学研究部門	教授	西田 武弘	昭和63年 4月～平成20年 3月	農林水産省畜産試験場、畜産草地研究所、国際農林水産業研究センター	黒毛和種牛の胎子を妊娠したホルスタイン種乳牛の、分娩前60日間の妊娠に要する代謝エネルギー量を求めた。茶系飲料残渣をサイレージにして牛に給与し、その飼料価値を検討した。3年間タイ王国に駐在。インドシナ半島諸国で利用可能な飼料の実態を明らかにし（飼料資源データベース）、現地の牛への適正給与水準を明らかにし、英語版飼料標準を作成	421100	家畜家禽論	畜産草地研究所でのウシ飼養管理に関する研究を担当していた経験を活かし、これらの講義では、家畜の飼料、栄養素の知識、消化管の構造、吸収機構、体内での代謝、消化率、その測定手法、代謝病等について、現場での効率性、実用性を重視した講義を展開している。
							421360	共通教育総合Ⅰ（家畜と環境問題）	
18	人間科学研究部門	准教授	平舘 善明	平成 10年 9月～平成 16年 3月	東京都立中学校および私立中学・高等学校	中学校技術・家庭科および高校情報科の非常勤講師を担当	362060	教育原理	教員実務経験にもとづき、現場の実情を反映させながら、授業を構成している。

19	獣医学研究部門	教授	古岡 秀文	昭和59年4月～60年3月	帯広食肉検査所	嘱託獣医師として食肉検査業務に従事	511260	病理学総論	食肉検査業務における症例や毒性病理症例を講義や実習に生かし、実務経験を反映した講義、実習を実施している。また、看護学に関する病理学を教授する経験を生かし、医学と獣医学について比較病理学的な観点で踏まえ講義を実施している。
				昭和60年4月～61年3月	日本曹達株式会社	小田原研究所にて毒性病理担当	511320	病理学各論実習	
				平成16年4月～現在	北海道社会福祉事業協会帯広看護専門学校	非常勤講師として病理学の講義を担当			
20	グローバルアグロメディシン研究センター	助教	堀内 雅之	平成20年4月～平成24年3月	農林水産省動物医薬品検査所	検査員：家畜衛生及び食品衛生に関わる法令に基づく動物用医薬品の検査、検定及び承認審査並びに家畜衛生に関わる業務全般	511310	病理学総論実習	左記2科目の実習中に展開される病理解剖実習において、官公庁勤務時に実施した各種動物の病理解剖学経験をもとに、家畜感染症の背景知識と共に正確な解剖手技の教授を展開している。
							511320	病理学各論実習	
							511550	食肉衛生学実習	
21	獣医学研究部門	教授	山岸 則夫	平成17年6月～平成27年9月	岩手大学農学部附属動物病院	産業動物の内科外科診療	511770	外科学総論	獣医療や動物疾患に関する授業
							511780	軟部組織外科学	
							511790	整形外科学	
							511800	応用外科学	
							511820	産業動物外科学実習	
511900	産業動物獣医療実習								
22	生命・食料科学研究部門	助教	山下 慎司	平成20年4月～平成26年3月	福島県 研究員	短大での食品科学講義および加工実習 社会人への専門講義および実習（醸造） 食品の成分分析・機能性分析 食品の放射性物質分析	421210	分析化学	短大での食品科学講義および加工実習 社会人への専門講義および実習（醸造） 食品の成分分析・機能性分析 食品の放射性物質分析
23	人間科学研究部門	教授	渡邊 芳之	平成2年4月～平成3年3月	長野県松本児童相談所	心理判定員（非常勤）として心理検査の実施、判定に従事した。	362070	教育心理学Ⅰ	「教育評価」の単元、「個性の評価」のセクションで各種心理検査の原理、実施法、判定法について講義している。
				平成3年4月～平成3年10月	心理検査会社「日本・精神技術研究所」社員（常勤）	内田クレベリン検査その他の心理検査の判定業務に従事した			